

知っていますか？私たちの公園のこと

川崎市の公園は、令和6年度末時点で、1,292か所、約775.78ヘクタール（東京ドーム約165個分）もあります。

そのうち900か所の公園では、地域のボランティアの皆さまが日頃の清掃活動や維持管理を行ってくださっており、きれいな公園が保たれています。

《各区公園数（R6末時点）》

川崎区：155か所
幸 区：111か所
中原区：115か所
高津区：163か所
宮前区：225か所
多摩区：167か所
麻生区：356か所



まち中の公園、「どこか似ているな」と感じたことはありませんか？



平成5年までは、公園は主に子どもたちが遊ぶ場所として「すべり台・ブランコ・砂場」を設置してきました。現在では、地域にお住いの皆さまが利用しやすい公園づくりを進めていますが、未だに似たようなつくりの公園が多く見られます。

また、公園の樹木についても、育ちやすさや管理のしやすさなどを考え選んできたため、同じような種類の樹木が植えられてきました。

公園で“〇〇もできる！”とは？

近年の様々な環境変化により、公園に求められる役割は多様化しています。また公園の除草、清掃などはボランティアの皆さまに支えられていますが、高齢化や担い手不足といった課題が生じています。

地域の皆さまが公園に愛着を持ち、『自分たちの公園』と感じられ行きたくなる公園になることで、皆さまが主体となった管理運営につなげ、地域のコミュニティが形成されることを目指しています。

そのため、各区でモデル公園（エリア）を設定し、この公園に行けばやってみたいことができる『公園で実現してみたいこと＝公園で“〇〇もできる！”』をキーワードに、地域の皆さまと話し合いながら公園について一緒に考え、より自由に使える公園づくりを進めていきます。

ワークショップの概要

《話し合うこと》

- ・今の公園についてどう思うか
- ・公園で「やりたいこと」
- ・自由に使いこなせる公園
- ・公園のルールや使い方 など

《ワークショップの開催規模》 年4回程度

《参加を予定しているメンバー》

公園で活動する団体・関係者、利用者（未就学児保護者、小中高大学生、高齢者）
関係機関（保育園教諭）、行政職員 など



みんなで持ち寄った草花
で彩る花壇



時間や広場により遊び方を分
ける公園づくり